Creative Enzymes®

ネイティブチキンマリックデヒドロゲナーゼ（オキサロ酢酸脱炭酸酵素）

Cat. No. NATE-0446

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	マリック脱水素酵素（MDH）は、真核細胞内に2つのアイソフォームとして存在します。1つはミトコンドリアで発現し、TCAサイクルで機能し、もう1つは細胞質にあり、ミトコンドリアからのマレートをオキサロ酢酸に□す役割を果たします。
用途	マリック脱水素酵素は、若いイエローフィッシュ（Pelteobagrus fulvidraco）の食事中のマンガン必要量を評価し、全身のミネラル組成および肝臓の中間代謝への影響を調□する研究に使用されました。また、ランシャン鶏からの線維芽細胞株の確立と生物学的特性を調□する研究にも使用されました。
別名	マリック酵素 (あいまい); ピルビン酸-マリックカルボキシラーゼ (あいまい); マレート脱水素酵素 (脱炭酸, NADP+); NADP+結合脱炭酸マリック酵素; NADP+-マリック酵素; NADP+特異的マリック酵素; NADP+特異的マレート脱水素酵素; マレート脱水素酵素 (NADP+, 脱炭酸); L-マレート:NADP+オキシドレダクターゼ; EC 1.1.1.40; 9028-47-1

製品情報

種	鶏肉
由来	鶏レバー
形態	硫酸アンモニウム懸濁液；10 mM カリウムリン酸塩、0.5 mM 2-メルカプトエタノール、10 mM 塩化マンガン、3 mM Na4EDTAを含む2.9 M (NH4)2SO4溶液中の懸濁液、pH 6.0
***EC*番号**	EC 1.1.1.40
***CAS*登□番号**	9028-47-1
活性	10-30 ユニット/mg タンパク質（修正ワールブルグ-クリスチャン）
単位定義	1ユニットは、pH 7.4、25°Cで1分あたり1.0 µmoleのL-マレートとNADPをピルビン酸、CO2、およびNADPHに□換します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C